



第3回 定時株主総会 招集ご通知

開催日時

2026年6月25日（木曜日）午前10時
受付開始：午前9時30分

開催場所

新宿住友スカイルーム Room1
東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル47F

（会場が前回と異なっておりますので、ご来場の際は、
末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照のうえ、
お間違えのないようご注意ください。）

議 案

剰余金の処分の件

目 次

第3回定時株主総会招集ご通知	1
事業報告	6
株主総会参考書類	14

(証券コード5535)
(発送日) 2026年6月10日
(電子提供措置の開始日) 2026年6月3日

株 主 各 位

東京都新宿区西新宿6丁目5番1号
新宿アイランドタワー41階
ミガロホールディングス株式会社
代表取締役社長 中 西 聖

第3回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第3回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、以下のウェブサイトにはアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

当社ウェブサイト <https://www.migalo.co.jp/ir/>
(上記ウェブサイトにはアクセスいただき、IRライブラリの「株主総会関連資料」をご確認ください。)

また、電子提供措置事項は、当社ウェブサイトのほか、東京証券取引所（東証）のウェブサイトにも掲載しておりますので、以下よりご確認ください。

東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）
<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>
(上記の東証ウェブサイトにはアクセスいただき、「銘柄名(会社名)」に「ミガロホールディングス」又は「コード」に当社証券コード「5535」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。)

なお、当日ご出席願えない場合は、書面又はインターネットにて議決権を行使することができませんので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討のうえ、本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2026年6月24日（水曜日）午後6時30分までに到着するようご送付いただくか、「インターネットによる議決権行使のご案内」をご参照の上、2026年6月24日（水曜日）午後6時30分までにご対応くださいますようお願い申し上げます。

株主総会当日は、ご自宅でも株主総会の模様をご覧いただけるよう視聴のみのオンライン参加ができるようにいたします。こちらも積極的にご活用くださいますよう、お願い申し上げます。

◎本総会へのオンライン参加は、事前申込みが必要となります。ご視聴を希望される方は、招集ご通知4ページ目にある<オンライン参加の方法>を必ずご確認ください。

敬 具

記

- | | |
|---------|--|
| 1. 日 時 | 2026年6月25日（木曜日）午前10時 |
| 2. 場 所 | 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル47階
新宿住友スカイルーム Room1
(会場が前回と異なっておりますので、ご来場の際は、末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照のうえ、お間違えのないようご注意ください。) |
| 3. 目的事項 | |
| 報告事項 | 1. 第3期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）
事業報告及び連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の
連結計算書類監査結果報告の件
2. 第3期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）
計算書類の内容報告の件 |
| 決議事項 | |
| 議案 | 剰余金の処分の件 |

4. 招集にあたっての決定事項（議決権行使についてのご案内）

- (1) 議決権行使書用紙において、議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとしてお取り扱いさせていただきます。
- (2) インターネットにより複数回、議決権を行使された場合は、最後に行われた議決権行使を有効なものとしてお取り扱いさせていただきます。
- (3) インターネットと議決権行使書用紙（郵送含む）により重複して議決権を行使された場合は、到着日時を問わず、インターネットによる議決権行使を有効なものとしてお取り扱いさせていただきます。
- (4) 代理人により議決権を行使される場合は、議決権を有する株主の方に委任する場合には限られます。なお、代理人は1名とさせていただきます。
- (5) 議決権の不統一行使をされる場合には、株主総会の日3日前までに、議決権の不統一行使を行う旨とその理由を当社にご通知ください。

以 上

~~~~~  
◎受付開始時刻は午前9時30分を予定しております。

◎当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますよう、お願い申し上げます。

◎電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上記インターネット上の当社ウェブサイト及び東証ウェブサイトにおいて、その旨、修正前及び修正後の事項を掲載させていただきます。

◎書面交付請求をいただいた株主様含め全ての株主様に、電子提供措置事項を記載した書面をあわせてお送りいたしますが、当該書面は、法令及び当社定款の規定に基づき、次に掲げる事項を除いております。

- ① 事業報告の「企業集団の現況に関する事項」の一部、「株式に関する事項」、「会社の新株予約権等に関する事項」、「会社役員に関する事項」の一部、「会計監査人の状況」、「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況」
- ② 連結計算書類
- ③ 計算書類
- ④ 監査報告

なお、監査役及び会計監査人は、上記事項を含む監査対象書類を監査しております。

◎株主総会でのお土産のご用意はございません。何卒ご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

### <オンライン参加の方法>

◎本総会へのオンライン参加は、事前申込みが必要となります。ご視聴を希望される方は、以下を必ずご確認ください。

#### ①配信日時

2026年6月25日（木曜日）午前10時00分から株主総会終了時刻まで  
（オンライン開始は、開始時刻10分前の午前9時50分頃に開始いたします。）

#### ②お申込み方法

下記ウェブサイトアクセスいただき、ご氏名・メールアドレス・株主番号を登録後、登録いただいたメールアドレスに当日のURL・IDをご案内いたします。

お申込みウェブサイト：<https://forms.gle/dwdjDFjyEv9qJF8P9>

お申込み受付時間：2026年6月24日（水曜日）午後6時30分まで  
（当日は、Zoomを使用いたします。）



### <オンライン参加の注意事項>

◎本総会におけるオンライン参加は、音声発信のある出席型ではなく、視聴のみの参加型となります。

◎本総会へのオンライン参加においては、質問や動議提出、動議採決を行うことができません。あらかじめご了承ください。なお、動議をご提出される可能性のある株主様は、株主総会会場へご来場のうえ、ご出席くださいますよう、お願い申し上げます。

### <「事業進捗説明会」の実施>

◎本総会終了後、小休止を挟みまして「事業進捗説明会」をオフラインにて実施することを予定しております。あわせてご参加頂戴できればと存じます。

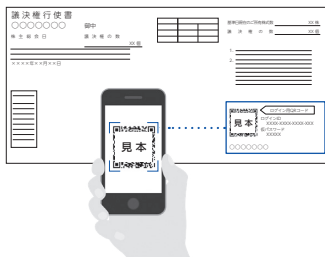
◎「事業進捗説明会」はオフライン開催のみとさせていただきますが、これとは別に定期的に個人投資家様向け説明会をオンラインにて実施させていただいております。今回ご都合が合わず、ご参加が難しい株主様につきましては、個人投資家様向け説明会へのご参加を是非ともご検討ください。

# インターネットによる議決権行使のご案内

## QRコードを読み取る方法

議決権行使書用紙に記載のログインID、仮パスワードを入力することなく、議決権行使サイトにログインすることができます。

- 1 議決権行使書用紙に記載のQRコードを読み取ってください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- 2 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

## ログインID・仮パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト <https://evote.tr.muftg.jp/>

- 1 議決権行使ウェブサイトへアクセスしてください。
- 2 議決権行使書用紙に記載された「ログインID・仮パスワード」を入力しクリックしてください。

「ログインID・仮パスワード」を入力

「ログイン」をクリック

- 3 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

※操作画面はイメージです。

インターネットによる議決権行使でパソコンやスマートフォンの操作方法などが不明な場合は、右記にお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ヘルプデスク  
0120-173-027  
(通話料無料/受付時間 9:00~21:00)

# 事業報告

(2025年4月1日から  
2026年3月31日まで)

## 1. 企業集団の現況に関する事項

### (1) 資金調達の状況

当連結会計年度において、金融機関等より26,618,862千円の資金調達を行っております。調達内容は次のとおりであります。

|                 |            |    |
|-----------------|------------|----|
| 建物及び土地購入用資金     | 24,101,319 | 千円 |
| その他事業用資金及び運転用資金 | 2,517,543  | 千円 |

また、2025年10月14日に公募により普通株式5,500,000株を発行し、2,819,740千円の資金調達を行っております。

2025年11月12日に第三者割当により普通株式266,300株を発行し、136,526千円の資金調達を行っております。

### (2) 重要な組織再編等の状況

- ①当社は、2025年5月30日付で、株式会社テラ・ウェブクリエイトの株式を81%取得し、同社を連結子会社としております。
- ②当社は、2025年9月30日付で、株式会社ユー・システム・クリエイションの株式を80%取得し、同社を連結子会社としております。
- ③当社は、2025年10月1日付で、バーナーズ株式会社を存続会社、株式会社ベスト・プラクティスを消滅会社とする吸収合併をし、商号を株式会社TIEROへ変更いたしました。
- ④当社は、2026年1月1日付で、アヴァント株式会社を存続会社、株式会社オムニサイエンスを消滅会社とする吸収合併及び、アヴァント株式会社を承継会社、株式会社シービーラボを分割会社とする吸収分割を実施いたしました。

### (3) 従業員の状況 (2026年3月31日現在)

#### ①企業集団の従業員の状況

| セグメント         | 従業員数 (役員を除く) | 前連結会計年度末比増減 |
|---------------|--------------|-------------|
| D X 推 進 事 業   | 301名         | +62名        |
| D X 不 動 産 事 業 | 148名         | +21名        |
| 全 社 ( 共 通 )   | 31名          | +16名        |
| 合 計           | 480名         | +99名        |

- (注) 1. 上記従業員には、使用人兼務役員及び臨時従業員（アルバイト、パートタイマー、嘱託社員、契約社員及び派遣社員）102名は含んでおりません。
2. 従業員数が前連結会計年度と比べ大幅に増加しておりますが、その主な理由は、グループ全体の採用強化による人材採用とDX推進事業において株式会社テラ・ウェブクリエイイト及び株式会社ユー・システム・クリエイションが連結子会社となったことによるものであります。

#### ②当社の従業員の状況

| 従業員数 (役員を除く) | 前期末比増減 |
|--------------|--------|
| 30名          | +13名   |

- (注) 1. 上記従業員には、使用人兼務役員及び臨時従業員（アルバイト、パートタイマー、嘱託社員、契約社員及び派遣社員）5名は含んでおりません。
2. 従業員数が前期末と比べ大幅に増加しておりますが、その主な理由は、グループ内の人員配置転換による転籍や人材採用によるものであります。

## (4) 重要な親会社及び子会社の状況

## ① 親会社の状況

該当事項はありません。

## ② 重要な子会社の状況

| 名 称                              | 資本金       | 当社の<br>出資比率 | 主要な事業内容                                     |
|----------------------------------|-----------|-------------|---------------------------------------------|
| プロパティエージェント株式会社                  | 100,000千円 | 100.0%      | 不動産開発販売事業<br>プロパティマネジメント事業<br>クラウドファンディング事業 |
| アヴァント株式会社                        | 100,000千円 | 78.2%       | システム構築・コンサルティング事業<br>システム受託開発事業<br>SEサービス事業 |
| 株式会社TIERO                        | 10,000千円  | 100.0%      | AIソリューション事業<br>デジタルインテグレーション事業              |
| DXYZ株式会社                         | 52,500千円  | 90.9%       | 顔認証IDプラットフォーム事業                             |
| 株式会社CloudTechPlus                | 5,000千円   | 80.0%       | デジタルインテグレーション事業                             |
| 株式会社AKIコマース                      | 30,000千円  | 100.0%      | マンション管理<br>サブリース事業                          |
| 株式会社アソシア・プロパティ<br>(注) 1          | 30,000千円  | (100.0%)    | 賃貸管理事業<br>仲介・斡旋事業<br>物件買取再販事業               |
| 株式会社テラ・ウェブクリエイト<br>(注) 2         | 43,776千円  | 80.6%       | デジタルインテグレーション事業                             |
| 株式会社ユー・システム・<br>クリエイション<br>(注) 3 | 10,000千円  | 80.0%       | システム受託開発事業                                  |

- (注) 1. 当社の出資比率における( )内は間接所有割合で株式会社AKIコマースが所有する議決権割合であります。
2. 2025年5月30日に株式会社テラ・ウェブクリエイトの株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。
3. 2025年9月30日に株式会社ユー・システム・クリエイションの株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。

### ③ 事業年度末日における特定完全子会社の状況

| 名 称             | 住 所                           | 株式の帳簿価額     | 当社の総資産額      |
|-----------------|-------------------------------|-------------|--------------|
| プロパティエージェント株式会社 | 東京都新宿区西新宿6丁目5番1号新宿アイランドタワー41階 | 9,187,752千円 | 15,858,151千円 |

## 2. 会社役員に関する事項

### (1) 取締役及び監査役の氏名等（2026年3月31日現在）

| 氏 名     | 地位及び担当                             | 重要な兼職の状況                                                         |
|---------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 中 西 聖   | 代表取締役社長                            | プロパティエージェント株式会社 代表取締役<br>DXYZ株式会社 代表取締役<br>株式会社TIERO 代表取締役       |
| 村 田 貴 志 | 取締役                                | プロパティエージェント株式会社 取締役<br>株式会社AKIコマース 代表取締役<br>株式会社アソシア・プロパティ 代表取締役 |
| 岩 瀬 晃 二 | 取締役<br>経営企画部兼<br>財務経理部兼<br>人事総務部部長 | プロパティエージェント株式会社 取締役<br>アヴァント株式会社 監査役<br>株式会社ユー・システム・クリエイション 監査役  |
| 井 河 元 広 | 取締役                                | レジデスト株式会社 代表取締役                                                  |
| 黒 田 恵 吾 | 取締役                                | クロスパス・アドバイザーズ株式会社 代表取締役                                          |
| 長 島 良 一 | 常勤監査役                              | プロパティエージェント株式会社 監査役                                              |
| 中 川 紘 平 | 監査役                                | 株式会社フーディソン 監査役<br>アリヴェクシス株式会社 監査役                                |
| 金 誠 智   | 監査役                                | アイスリー株式会社 代表取締役                                                  |

- (注) 1. 取締役井河元広氏及び取締役黒田恵吾氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役は、全員会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
3. 取締役井河元広氏、取締役黒田恵吾氏、常勤監査役長島良一氏、監査役中川紘平氏及び監査役金誠智氏につきましては、東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。
4. 常勤監査役長島良一氏は、経営管理部門を中心とした職務を経験し、前職において取締役及び監査役等を歴任しており、財務・会計並びに会社法実務等に関する相当程度の知見を有するものであります。
- 監査役中川紘平氏は、弁護士として企業法務に精通しており、会社法をはじめとする各種法制度に関する相当程度の知見を有するものであります。
- 監査役金誠智氏は、大手会計事務所にて公認会計士業務を、事業会社にてIPO、IR、内部監査等の業務を経験しており、財務・会計並びに経営管理等に関する相当程度の知見を有するものであります。

## (2) 責任限定契約の内容の概要

当社は、社外取締役及び社外監査役全員と会社法第423条第1項の賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく賠償責任限度額は、会社法第425条第1項に定める額を責任の限度としております。

## (3) 役員等賠償責任保険契約の内容の概要

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約の被保険者の範囲は取締役及び監査役であり、被保険者は保険料を負担しておりません。当該保険契約により保険期間中に被保険者に対して提起された損害賠償請求にかかる訴訟費用及び損害賠償金等が填補されることとなります。

ただし、被保険者の職務の執行の適正性が損なわれないようにするため、当該被保険者が法令違反の行為であることを認識して行った行為に起因して生じた損害の場合には填補の対象とならないなど、一定の免責事由があります。

#### (4) 取締役及び監査役の報酬等

##### ①取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針に関する事項

当社は、取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針（以下、決定方針という。）を定めております。その概要は、株主総会で決議された取締役の報酬総額の限度内において、当社グループの業容規模や経営内容等を勘案し、取締役個人の担っている職責（当社グループ全体への経営責任・影響度等）、業績評価等に基づき決定するというものになっております。なお、報酬等の種類ごとの比率の目安は、連結会計年度ごとの営業利益及び経常利益の計上額によりますが、連結会計年度期初に想定していた営業利益及び経常利益を上回る実績となった場合に、概ね基本報酬60%～70%、業績連動報酬40%～30%という目安になります。また、取締役（社外取締役を除く）に対する非金銭報酬等は、株主様との価値共有をより一層促進すること及びより健全かつ透明性のある経営を維持するインセンティブとして、継続的に検討する事項としております。

決定方針の決定方法は、社外役員を含む全役員が出席する取締役会において、当社グループと同程度の事業規模や関連する業種・業態に属する企業の状況を総合的に勘案し、十分に審議のうえ、決定することとしております。

##### ②取締役及び監査役の報酬等についての株主総会の決議に関する事項

取締役の金銭報酬の額は、2024年6月25日開催の第1回定時株主総会において、年額300,000千円以内と決議されております（使用人兼務取締役の使用人分給与は含まない）。当該定時株主総会終結時点の取締役の員数は5名（うち社外取締役2名）であります。

監査役の金銭報酬の額は、2024年6月25日開催の第1回定時株主総会において、年額30,000千円以内と決議されております。当該定時株主総会終結時点の監査役の員数は3名（全員社外監査役）であります。

##### ③取締役の個人別の報酬等の内容の決定に係る委任に関する事項

当社においては、取締役会の委任決議に基づき代表取締役社長中西聖が取締役の個人別の報酬額の具体的内容を決定しております。

その権限の内容は、取締役の個人別の基本報酬、業績連動報酬の額を決定することであります。

これらの権限を委任した理由は、代表取締役社長中西聖が長年にわたり当社グループの属する業界に携わっており、ベンチマークとする企業の報酬等に精通しているため、また、当社グループの経営内容、当該取締役の責任・影響度等を俯瞰して把握しているためであります。取締役会は、当該権限が代表取締役によって適切に行使されるよう、取締役の報酬金額に関する決定書を社外役員が閲覧する等の措置を講じており、当該手続きを経て取締役の個人別の報酬額が決定されていることから、その内容が決定方針に沿うものであると判断しております。

④取締役及び監査役の報酬等の総額等

| 役員区分             | 報酬等の総額                  | 報酬等の種類別の総額              |                       |          | 対象となる役員<br>の員数 |
|------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------|----------|----------------|
|                  |                         | 基本報酬                    | 業績連動報酬等               | 非金銭報酬等   |                |
| 取締役<br>(うち社外取締役) | 217,220千円<br>(20,200千円) | 137,220千円<br>(19,200千円) | 80,000千円<br>(1,000千円) | —<br>(—) | 5名<br>(2名)     |
| 監査役<br>(うち社外監査役) | 14,775千円<br>(14,775千円)  | 14,775千円<br>(14,775千円)  | —<br>(—)              | —<br>(—) | 3名<br>(3名)     |
| 合計               | 231,995千円<br>(34,975千円) | 151,995千円<br>(33,975千円) | 80,000千円<br>(1,000千円) | —<br>(—) | 8名<br>(5名)     |

(注) 業績連動報酬等は、当連結会計年度に係る役員賞与引当金繰入額を記載しております。業績連動報酬等の額の算定の基礎として選定した業績指標は営業利益であります。当該業績指標を選定した理由は、当社が中期ビジョン達成に向けて掲げている中期的目標（売上高1,000億円、時価総額1,000億円）に直結する重要指標だからであります。業績連動報酬等の額の算定方法は、期初策定の営業利益予想と実績の対比により、株主総会で決議された取締役の報酬総額の限度内においてその総額を算定することとし、取締役個人は、その実績への貢献、当社グループ全体への経営責任・影響度に基づいて算定することとしております。なお、当連結会計年度の営業利益は3,061,249千円（前連結会計年度2,713,201千円）、経常利益は2,347,669千円（前連結会計年度2,121,788千円）といずれも増益しております。

(5) 社外役員に関する事項

ア. 重要な兼職先と当社との関係

| 区分  | 氏名   | 兼職先                       | 兼職内容  | 当該他の法人等との関係                                      |
|-----|------|---------------------------|-------|--------------------------------------------------|
| 取締役 | 井河元広 | レジデスト株式会社                 | 代表取締役 | 当社とレジデスト株式会社との間には重要な取引その他の関係はありません。              |
| 取締役 | 黒田恵吾 | クロスパス・アドバイザーズ株式会社         | 代表取締役 | 当社とクロスパス・アドバイザーズ株式会社との間には重要な取引その他の関係はありません。      |
| 監査役 | 長島良一 | プロパティエージェント株式会社           | 監査役   | プロパティエージェント株式会社は当社の連結子会社であります。                   |
| 監査役 | 中川紘平 | 株式会社フーディソン<br>アリヴェクシス株式会社 | 監査役   | 当社と株式会社フーディソン、アイヴェクシス株式会社との間には重要な取引その他の関係はありません。 |
| 監査役 | 金誠智  | アイスリー株式会社                 | 代表取締役 | 当社とアイスリー株式会社との間には重要な取引その他の関係はありません。              |

イ. 主要取引先等特定関係事業者との関係  
該当事項はありません。

## ウ. 当事業年度における主な活動状況

| 区分        | 氏名   | 主な活動状況・社外取締役にて期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                                                |
|-----------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役       | 井河元広 | 当事業年度開催の取締役会には、17回中17回に出席し、不動産に関する専門的な知識や多くの経験から、当社の経営戦略や事業計画の策定に関する意見・助言を適宜行い、取締役会の意思決定の妥当性及び適正性を確保するための適切な役割を果たしております。                         |
| 取締役       | 黒田恵吾 | 当事業年度開催の取締役会には、17回中17回に出席し、ファイナンスに対する理解及び不動産分野における経験から、当社の経営戦略や事業計画の策定に関する意見・助言を適宜行い、取締役会の意思決定の妥当性及び適正性を確保するための適切な役割を果たしております。                   |
| 常勤<br>監査役 | 長島良一 | 当事業年度開催の取締役会には、17回中17回に出席し、主に財務・会計並びに会社法実務の豊富な経験と幅広い見識から適宜質問し、意見を述べております。<br>また、当事業年度開催の監査役会には、16回中16回に出席し、監査結果についての意見交換、監査に関する重要事項の協議等を行っております。 |
| 監査役       | 中川紘平 | 当事業年度開催の取締役会には、17回中17回に出席し、主に弁護士としての経験と会社法に関する専門的な知識から適宜質問し、意見を述べております。<br>また、当事業年度開催の監査役会には、16回中16回に出席し、監査結果についての意見交換、監査に関する重要事項の協議等を行っております。   |
| 監査役       | 金誠智  | 当事業年度開催の取締役会には、17回中17回に出席し、主に財務・会計並びに経営管理等の豊富な経験と幅広い見識から適宜質問し、意見を述べております。<br>また、当事業年度開催の監査役会には、16回中16回に出席し、監査結果についての意見交換、監査に関する重要事項の協議等を行っております。 |

(注) 本事業報告中の記載金額・株数は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 株 主 総 会 参 考 書 類

### 議案 剰余金の処分の件

当社は、成長の持続と健全性の確保を基軸として企業価値を拡大させ、会社の業績に応じた適切な株主還元を実施することを考えております。これを踏まえ、当社では、収益力を高めることにより増配基調とすること、一定の配当性向を維持及び向上させることを目指しております。

当期の剰余金の配当につきましては、以上の方針に基づき、1株当たりの年間配当金を8円50銭とし、当連結会計年度の期末配当金は次のとおり、5円50銭といたしたいと存じます。

#### 期末配当に関する事項

1. 配当財産の種類

金銭

2. 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき金 5円50銭                      総額353,674,662円

なお、2025年12月に、1株につき3円の間配当金をお支払いしていますので、1株当たりの年間配当金は8円50銭となります。

3. 剰余金の配当が効力を生ずる日

2026年6月26日

以 上

